

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年10月5日

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|------------|---------------------------------|
| 事業所番号 | 3972500551 |
| 法人名 | 医療法人 社団 若鮎 |
| 事業所名 | グループホーム 里山うらら |
| 所在地 | 〒781-1301 高知県 高岡郡越知町越知甲283-1 |
| 自己評価作成日 | 平成21年7月21日 |
| 評価結果市町村受理日 | 平成21年10月20日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3972500551&SCD=320 |
|-------------|---|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームは、どの部屋からも緑豊かな山々が望め、桜や銀杏の樹、芝桜や田植え風景など年中季節感を味わえる環境におかれている。利用者は、おしゃべり好きな方が多く、一日中好きな会話とおいしい食事を共にし、笑いの絶えない日々を過ごしている。また、ホームでは、利用者が、生まれ育った地域で多くの方々との触れ合いを大切にしたい日々を送ることができるよう、地域とのつながりや支え合いの関係づくりに努めている。

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|--|
| 評価機関名 | 高知県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ |
| 訪問調査日 | 平成21年8月6日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、小高い田園地帯の住宅地に位置し、仁淀川の流れと周囲の山々や田畑に四季の移ろいを感じながら静かに落ち着いて過ごせる環境に利用者は毎週1回、地域の高齢者と一緒に「きたえんぼう体操」を通じて交流しているほか、知人宅を訪ねたり知人が事業所を訪れるなど、昔からの馴染みの関係を継続しながら明るくゆったりとした生活を送っている。また、事業所では、前回評価の課題であった日常的な散歩や外出支援、地域住民の参加、協力を得た防災訓練の実施に取り組むとともに、母体法人の医療機関と連携した看取り体制も整えており、利用者、家族との信頼関係も構築されている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員一同で理念を共有し、生まれ育った地域で、多くの人たちと触れ合いながらゆったりとした笑いの絶えない日常生活の支援を行っている。 | 職員は、地域との触れ合いを基本とした地域密着型の理念を、毎月の職員会等で共有し、一人ひとりに応じた支援に取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の公報や運営推進会議の委員から地域の情報を把握し、清掃活動や芸能祭、運動会に利用者と共に参加している。また、事業所で行う「きたえんぼう体操」や誕生会、夏祭りに地域住民の参加があるほか、地域住民から野菜をもらったり、利用者の馴染みの知人の来訪やこちらからの訪問など、日常的に交流している。 | 町内会に加入し、地域の清掃活動や行事に積極的に参加している。また、保育所、中学校との交流や事業所の誕生会や夏祭り、高齢者を対象とした体操教室に地域住民の参加があるなど、日常的に交流している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の方を対象とした認知症の勉強会を企画し、事業所の実践報告など地域への情報発信をしている。 | / | / |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2カ月に1回開催し、委員から行事や課題等の報告に対する意見や、情報の提供などを受けている。会議録を目に触れるよう掲示して職員間で共有し取り組んでいる。 | 2カ月毎に開催し、事業所の状況や評価結果などの報告に対して委員から質問や提言などが出され、防災対策や地域交流の推進など運営に活かしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 担当者と定期的に意見交換を行っているほか、入退居がある場合は、退居の経過や入居される方の状況等の説明に伺っている。 | 2カ月毎に役場内でケア会議を開催し情報交換を行うほか、折に触れてケアサービスについて地域包括支援センターに相談、指導を受けるなど、行政と連携して取り組んでいる。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 事業所内外の身体拘束の勉強会に積極的に参加するほか職員間で話し合い、日中の玄関の施錠も含む身体拘束のないケアに取り組んでいる。 | 玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアについて、勉強会を行い職員の理解を深め取り組んでいる。2階の窓は見晴しもよく開放感があるが安全確保の観点から全開出来ないようにしている。 | 身体拘束の排除と安全対策は表裏の関係にあり、いずれも重要なことであるが、窓を全開できないようにする安全対策が利用者にとって心理面や精神面で拘束に至っていないか検討しながら、今後も拘束のないケアに取り組まれることを期待したい。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者の虐待防止に関する勉強会に必ず参加し、全職員の理解を高め、日々の言葉がけにもお互い注意し合うなど徹底している。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護の勉強会に積極的に参加し、職員間で話し合い制度の理解に努め、個々の必要性に応じて活用するようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時は、重要説明事項や契約書等に基づき、ご本人、ご家族が十分納得いただくよう説明し手続きをすすめている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者の表情や行動からその思いを把握し、意思疎通が困難な場合は家族や関係者から情報を集めている。また、家族の来所には必ず会話をしたり、行事に併せて家族会を開催し、意見、要望があればその都度職員間で話し合いを持ち改善に努めている。 | 事業所の行事に併せて家族会が開かれており、家族だけで話し合えるよう配慮している。また、家族の来訪時には必ず面談し、意見や要望を聞くようにしている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定例の職員会の際や必要に応じて臨時会を行うなど、職員の意見を聞く機会を設けている。 | 全職員が参加する定例の職員会（毎月の第一月曜日）には事務長も出席し、意見等を集約し運営につなげるようにしている。また、必要に応じて管理者も参加し、職員間で話し合いも行っている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 人事考課に合わせて年2回、全職員との面談を行い、個人の勤務状況や努力と成果等を把握し、職員の意見や熱意も踏まえ、事業所サイドからも職員のモチベーションを上げていくよう努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年間を通じた研修計画をたて、職員個人個人に応じて研修の受講や勉強会を実施している。また、同業者ネットワークや町役場から研修や勉強会の情報を得るよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>県内の同業者の協議会に加入し、研修や情報交換をしている。また、近隣のグループホームと合同で勉強会を開催したり相互訪問などを通じてサービスの向上につなげている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入居の相談があった場合は、必要に応じて関係先から情報を集めるとともに、ご本人の状況や要望等の把握し、安心感を持っていただくよう努めている。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>入居時には、家族の要望等を聞くとともに、事業所の運営や家族と一緒に支援していくことなど十分に説明し、納得していただくよう努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談を受けた場合は、まず、ご本人、ご家族が何を求めているか把握し、事業所で対応できることを説明し、要望に応じて町の担当やこれまでの関係施設等と連携して応えていくようにしている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員は、利用者は人生の先輩として、また、共に暮らしている者同士という関係を大切にして、日常生活の中で自然にこれまでの経験や知恵を教えてもらうようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 利用者と家族の橋渡し役として、利用者の日々の暮らし振りや家族と交流する行事等の参加を呼びかけるなど、事業所と家族が利用者を支えていく関係づくりに努めている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 利用者が、これまでの生活で大切にしてきた馴染みの店や知人との関係を続けていくよう配慮している。 | 行きつけの美容院や馴染みの商店に行くことや、利用者とその知人がお互いの自宅や事業所を訪問し合うなど、これまでの関係が継続できるよう支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 共通の話題づくりや孤立しない配慮など、利用者同士が一緒に生活していけるよう職員が調整役となって支援している。おしゃべり好きな方が多く、職員も一緒に和んで支援している場面もある。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 定期的に電話などで、様子を伺ったり状況に応じて催し物にも参加して頂けるよう声掛けをしている。 | | |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々ケアをしていくなかで、会話や表情からその日にどのように暮らしたいか、何をしたいかを汲み取ることに努め、また、意思疎通が困難な場合は、家族の話や利用者の好み等をもとに声かけするなど工夫をしている。 | 入居時に記録した一人ひとりの暮らしの情報を基本に、日々の会話から利用者の思いに応えるようにしている。また、意思疎通が困難な場合は、表情や態度から推測したり、家族や知人などから情報を得るようにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時に把握した生活歴等を基本にして、入居後も、利用者との会話や家族、知人、関係施設等から情報をいただくなど、その把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者の生活リズムや生活力を把握し、職員間で共有している。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 入居時の暫定プランから3週目の本プランを経て6カ月の長期プランのなかで、2カ月に一回のモニタリングや利用者の状況、家族の意見等に応じて、随時プランを見直すなどチームで取り組んでいる。 | 6カ月の長期目標を基本として、2カ月毎にモニタリングを行い、利用者の状況や家族の意見、職員の気づきなどを踏まえ、随時、計画を見直している。 | 介護計画については、利用者の状況や家族の意見を踏まえ、職員同士で話し合っって作成しているが、計画書やモニタリング、カンファレンス等の記録を同じファイルに綴じることによって、何時でも職員がプロセス等を共有し、確認しながらケアに活かしていける工夫を期待したい。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 利用者の状態の変化があればその都度話し合いを持ち、介護計画の見直しにつなげている。また、前回評価の課題であった連絡帳の確認について職員で有効活用について職員間で共有す長をを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | 母体法人の医療、介護保険サービスとの連携を含めて、利用者、家族の要望等に応じた支援ができるよう努めている。 | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | 町の声かけで事業で「きたえんぼう体操」を行ったり、地域包括支援センターとの日々の連携、地区長さん、民生委員さんに運営推進会議に加わっていただくなど、地域に支えられて利用者を支援している。 | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | 母体法人の協力医療機関をかかりつけ医とする利用者がほとんどで、受診結果の共有もできている。また、協力医療機関以外の眼科、歯科に通院している利用者もいる。 | 利用者はほとんど入居前から母体法人の医療機関をかかりつけ医としており、眼科や歯科は本人や家族の希望に沿って受診できるよう支援している。また、受診結果は家族や付き添いの職員、医療機関からの情報を聞き、申し送りや連絡簿で共有している。 | |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | 看護職員が配置されており、日々のケアのなかで利用者に変化等があれば、常時相談や情報を共有して適正な医療、看護が受けれる体制となっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院した場合は、ケア面での情報を提供するとともに協力医療機関から経過等の情報を得るなど、十分連携ができています。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>母体法人の医療機関と連携して方針を共有し、ご家族、医師、職員を交えていつでも話し合いができる状態である。</p> | <p>入居時に看取りに関する指針について家族等に説明しているが、これまで対応した事例はない。事業所としては、利用者の状況や家族の意向に沿って母体法人の医療機関と連携して終末期ケアに対応していく体制は整えている。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>職員は、協力病院から応急手当や消防署から救命訓練を受け、事故発生等に備えている。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回の消防訓練と自主訓練を行い、前回評価の課題であった地域の方々の参加、協力もいただきながら取り組んでいる。また、災害時の非常用グッズの用意もしている。</p> | <p>地域住民の参加、協力を得て防災訓練を行っている。また、非常用の食料、飲料水の主なものは母体法人の医療機関に準備し、事業所には緊急袋や携帯用の鍋、コンロ等を備えている。</p> | <p>近くにある母体法人の医療機関と連携した防災対策も強みであるが、非常時には想定外のことも起こり得ることから、事業所にも一定量の非常用の食料、飲料水を準備しておくことの検討を期待したい。</p> |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | プライドを傷つけないような声掛けをし、人生の先輩であるということに対し、尊敬の気持ちをもって対応している。 | 日々の利用者への言葉がけの配慮や家族との話は居室や事務室で行うなど、利用者の尊厳の尊重やプライバシーの確保について、職員に理解と実践を徹底している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 職員は日々のケアの中で、利用者の関心や好みに応じた場面づくりに配慮するなど、利用者が自分で選択出来る状況や環境づくりに心掛けている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 事業所の基本的なスケジュールはあるが、一人ひとり生活リズムを大切にし、入浴や買い物など利用者の希望に沿って規制のない自由な生活ができるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 利用者本人が好みの衣装を選んだり、美容院への送迎のほか、希望に応じて事業所で髪のカットや毛染も行っている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の献立はその都度希望を聞いてメニューを作り季節の物を取り入れている。また、利用者の出来る範囲で下ごしらえから片付けまで一緒にしている。(ペースト食の方にも喜ばれる様に工夫をしている。) | 野菜の皮むきやごますりなど調理から食器の片付けまで、利用者ができることを活かしながら、楽しい食事時間となるよう支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 1人ひとりに合わせた盛り付けや水分補給に配慮している。また、母体法人の管理栄養士にチェックをもらっている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 歯科医の訪問ケアを受けるほか、職員全員で口腔ケアの技術面の研修を受け、利用者に応じた支援をしている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中は、様子を見極めてトイレ誘導を行いおむつ使用を減らす支援に取り組んでいる。また、トイレの誘導や失敗の際は、本人のプライドを傷つけないよう配慮している。 | 利用者の排泄パターンを把握して座位の取れる利用者はトイレでの排泄を誘導するとともに、パットや紙パンツ、布パンツの使用は、日中と夜間、利用者の状態などに応じて使い分けしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 献立にも便秘を防ぐメニューを多く取り入れると同時に、毎週火曜日の「きたえんぼう体操」や散歩を取り入れることで、便秘予防効果をあげている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | 毎日希望を聞きいつでも入浴が出来る様に準備している。(夜間も21時まで希望に応じている。) | 基本的には午後の時間帯としているが、利用者の希望に応じて、毎日朝から夜間9時までの間に、いつでも入浴できるようにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心して 気持ちよく眠れるよう支援している | 体調や生活リズムを把握するとともに、 ゆっくり眠れるよう運動を取り入れるなど、 利用者一人ひとりの状況に応じた支援を している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解して おり、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている | 協力医療機関との連絡を密に取り、 誤薬や飲み忘れがないよう職員に徹底し、 看護師、管理者、当直担当など複数の チェック体制で取り組んでいる。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を 活かした役割、嗜好品、楽しみごと、 気分転換等の支援をしている | 利用者の気持ちや力を活かし、日々の 生活の中で、役割を担っていただく よう働きかけている。日記や俳句、 絵画を勧めたことで、その利用者の 生きがいにつながっている例もある。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援している | 日常的な散歩や馴染みの店での買 物、知人宅を訪問するほか、家族の 協力を得て利用者の希望する場所 に出かけたり、季節折々の花見や 催しの見学など採り入れている。 | 散歩はほぼ毎日出かけ、身の 回り品の買い物など、利用者の 希望に合わせた支援をしている。 車椅子の利用者も、周辺の 散歩や庭の草引きなど、できる だけ外出するよう配慮してい る。また、月に1度の外食は利 用者の楽しみの一つとなっている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している | 家族の協力を得て金銭を預かり、 利用者の希望や能力に応じて買 い物支援をするなど、社会性の 維持に配慮している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者の希望に沿って、家族や知人への電話や手紙を書くなど、利用者の安心感やこれまでの関係をつなぐ支援をしている。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 室内でも季節を感じられる装飾を行い、居心地良く過ごして頂く努力をしている。また、フローアから山々や川、田園風景が一望出来、庭の花を眺め季節の移り変わりを肌で感じてもらっている。 | 仁淀川の流れや山々の四季の移ろいが見渡せる環境のなかで、朝顔の花の飾り付けなど季節感のある雰囲気に配慮している。また、利用者はフロアの畳の腰かけで寝転がるなど落ち着いて過ごせる空間となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 一人の居場所は確保できているが、自然にフローアに集まり、利用者同士で話したり思い思いに過ごしている。家族の面会も他の利用者も囲んで歓談することが多く、笑いも絶えない。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 箆笥や椅子など、本人、家族の希望の物を持って来られている。また、家族写真や影膳を供えるなど、利用者それぞれ自由に部屋を使ってもらっている。 | 利用者の使い慣れたタンスやベッド、クッションなどを家族と相談して持ち込み、家族写真や絵を飾るなど思い思いの生活空間となっている。また、居室毎に壁紙を変え、利用者も気に入っている様子が窺える。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 安心して就寝できるよう、上から物が落ちてこないようにしたり、家具の配置などに気をつけている | | |

| V アウトカム項目 | | ユニット名： 1 階 | |
|-----------|--|------------|---|
| 項 目 | | 該当するものに○印 | 取り組みの成果 |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |

| 項 目 | | 該当するものに○印 | 取り組みの成果 |
|-----|--|-----------|--|
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | <p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p> | <p>職員一同で理念を共有し、生まれ育った地域で、多くの人たちと触れ合いながらゆったりとした笑いの絶えない日常生活の支援を行っている。</p> | | |
| 2 | 2 | <p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p> | <p>地域の公報や運営推進会議の委員から地域の情報を把握し、清掃活動や芸能祭、運動会に利用者と共に参加している。また、事業所で行う「きたえんぼう体操」や誕生会、夏祭りに地域住民の参加があるほか、地域住民から野菜をもらったり、利用者の馴染みの知人の来訪やこちらからの訪問など、日常的に交流している。</p> | | |
| 3 | | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p> | <p>地域の方を対象とした認知症の勉強会を企画し、事業所の実践報告など地域への情報発信をしている。</p> | | |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>2カ月に1回開催し、委員から行事や課題等の報告に対する意見や、情報の提供などを受けている。会議録を目に触れるよう掲示して職員間で共有し取り組んでいる。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>担当者と定期的に意見交換を行っているほか、入退居がある場合は、退居の経過や入居される方の状況等の説明に伺っている。</p> | | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>事業所内外の身体拘束の勉強会に積極的に参加するほか職員間で話し合い、日中の玄関の施錠も含む身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p> | | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>高齢者の虐待防止に関する勉強会に必ず参加し、全職員の理解を高め、日々の言葉がけにもお互い注意し合うなど徹底している。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>権利擁護の勉強会に積極的に参加し、職員間で話し合い制度の理解に努め、個々の必要性に応じて活用するようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時は、重要説明事項や契約書等に基づき、ご本人、ご家族が十分納得いただくよう説明し手続きをすすめている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>利用者の表情や行動からその思いを把握し、意思疎通が困難な場合は家族や関係者から情報を集めている。また、家族の来所には必ず会話をしたり、行事に併せて家族会を開催し、意見、要望があればその都度職員間で話し合いを持ち改善に努めている。</p> | | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>定例の職員会の際や必要に応じて臨時会を行うなど、職員の意見を聞く機会を設けている。</p> | | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>人事考課に合わせて年2回、全職員との面談を行い、個人の勤務状況や努力と成果等を把握し、職員の意見や熱意も踏まえ、事業所サイドからも職員のモチベーションを上げていくよう努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 年間を通じた研修計画をたて、職員個人個人に応じて研修の受講や勉強会を実施している。また、同業者ネットワークや町役場から研修や勉強会の情報を得るよう努めている。 | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | 県内の同業者の協議会に加入し、研修や情報交換をしている。また、近隣のグループホームと合同で勉強会を開催したり相互訪問などを通じてサービスの向上につなげている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | 入居の相談があった場合は、必要に応じて関係先から情報を集めるとともに、ご本人の状況や要望等の把握し、安心感を持っていただくよう努めている。 | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | 入居時には、家族の要望等を聞くとともに、事業所の運営や家族と一緒に支援していくことなど十分に説明し、納得していただくよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談を受けた場合は、まず、ご本人、ご家族が何を求めているか把握し、事業所で対応できることを説明し、要望に応じて町の担当やこれまでの関係施設等と連携して応えていくようにしている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員は、利用者は人生の先輩として、また、共に暮らしている者同士という関係を大切にして、日常生活の中で自然にこれまでの経験や知恵を教えるようようしている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>利用者と家族の橋渡し役として、利用者の日々の暮らし振りや家族と交流する行事等の参加を呼びかけるなど、事業所と家族が利用者を支えていく関係づくりに努めている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p> | <p>利用者が、これまでの生活で大切にしてきた馴染みの店や知人との関係を続けていくよう配慮している。</p> | | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>共通の話題づくりや孤立しない配慮など、利用者同士が一緒に生活しているよう職員が調整役となって支援している。おしゃべり好きな方が多く、職員も一緒に和んで支援している場面もある。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | 定期的な電話などで、様子を伺ったり状況に応じて催し物にも参加して頂けるよう声掛けをしている。 | | |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p> | 日々ケアをしていくなかで、会話や表情からその日にどのように暮らしたいか、何をしたいかを汲み取ることに努め、また、意思疎通が困難な場合は、家族の話や利用者の好み等をもとに声かけするなど工夫をしている。 | | |
| 24 | | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | 入居時に把握した生活歴等を基本にして、入居後も、利用者との会話や家族、知人、関係施設等から情報をいただくなど、その把握に努めている。 | | |
| 25 | | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | 利用者の生活リズムや生活力を把握し、職員間で共有している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>入居時の暫定プランから3週目の本プランを経て6カ月の長期プランのなかで、2カ月に一回のモニタリングや利用者の状況、家族の意見等に応じて、随時のプランを見直すなどチームで取り組んでいる。</p> | | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>利用者の状態の変化があればその都度話し合いを持ち、介護計画の見直しにつなげている。また、前回評価の課題であった連絡帳の確認について職員で有効活用について職員間で共有す長をを行っている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>母体法人の医療、介護保険サービスとの連携を含めて、利用者、家族の要望等に応じた支援ができるよう努めている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>町の声かけで事業で「きたえんぼう体操」を行ったり、地域包括支援センターとの日々の連携、地区長さん、民生委員さんに運営推進会議に加わっていただくなど、地域に支えられて利用者を支援している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | 母体法人の協力医療機関をかかりつけ医とする利用者がほとんどで、受診結果の共有もできている。また、協力医療機関以外の眼科、歯科に通院している利用者もいる。 | | |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | 看護職員が配置されており、日々のケアのなかで利用者に変化等があれば、常時相談や情報を共有して適正な医療、看護が受けれる体制となっている。 | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | 入院した場合は、ケア面での情報を提供するとともに協力医療機関から経過等の情報を得るなど、十分連携ができている。 | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | 母体法人の医療機関と連携して方針を共有し、ご家族、医師、職員を交えていつでも話し合いができる状態である。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 職員は、協力病院から応急手当や消防署から救命訓練を受け、事故発生等に備えている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の消防訓練と自主訓練を行い、前回評価の課題であった地域の方々の参加、協力もいただきながら取り組んでいる。 | | |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | プライドを傷つけないような声掛けをし、人生の先輩であるということに対し、尊敬の気持ちをもって対応している。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 職員は日々のケアの中で、利用者の関心や好みに応じた場面づくりに配慮するなど、利用者が自分で選択出来る状況や環境づくりに心掛けている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 事業所の基本的なスケジュールはあるが、一人ひとり生活リズムを大切にし、入浴や買い物など利用者の希望に沿って規制のない自由な生活ができるよう支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 利用者本人が好みの衣装を選んだり、美容院への送迎のほか、希望に応じて事業所で髪のカットや毛染も行っている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の献立はその都度希望を聞いてメニューを作り季節の物を取り入れている。また、利用者の出来る範囲で下ごしらえから片付けまで一緒にしている。(ペースト食の方にも喜ばれる様に工夫をしている。) | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 1人ひとりに合わせた盛り付けや水分補給に配慮している。また、母体法人の管理栄養士にチェックをしてもらっている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 歯科医の訪問ケアを受けるほか、職員全員で口腔ケアの技術面の研修を受け、利用者に応じた支援をしている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中は、様子を見極めてトイレ誘導を行いおむつ使用を減らす支援に取り組んでいる。また、トイレの誘導や失敗の際は、本人のプライドを傷つけないよう配慮している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 献立にも便秘を防ぐメニューを多く取り入れると同時に、毎週火曜日の「きたえんぼう体操」や散歩を取り入れることで、便秘予防効果をあげている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 毎日希望を聞きいつでも入浴が出来る様に準備している。(夜間も21時まで希望に応じている。) | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 体調や生活リズムを把握するとともに、ゆっくり眠れるよう運動を取り入れるなど、利用者一人ひとりの状況に応じた支援をしている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 協力医療機関との連絡を密に取り、誤薬や飲み忘れがないよう職員に徹底し、看護師、管理者、当直担当など複数のチェック体制で取り組んでいる。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者の気持ちや力を活かし、日々の生活の中で、役割を担っていただくよう働きかけている。日記や俳句、絵画を勧めたことで、その利用者の生きがいにつながっている例もある。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>日常的な散歩や馴染みの店での買い物、知人宅を訪問するほか、家族の協力を得て利用者の希望する場所に出かけたり、季節折々の花見や催しの見学など、 前回評価の課題であったリハビリ実施日の散歩について、利用者の希望に応じて支援している。</p> | | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>家族の協力を得て金銭を預かり、利用者の希望や能力に応じて買い物支援をするなど、社会性の維持に配慮している。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>利用者の希望に沿って、家族や知人への電話や手紙を書くなど、利用者の安心感やこれまでの関係をつなぐ支援をしている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>室内でも季節を感じられる装飾を行い、居心地良く過ごして頂く努力をしている。また、フローアから山々や川、田園風景が一望出来、庭の花を眺め季節の移り変わりを肌で感じてもらっている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>一人の居場所は確保できているが、自然にフロアに集まり、利用者同士で話したり思い思いに過ごしている。家族の面会も他の利用者も囲んで歓談することが多く、笑いも絶えない。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>箆笥や椅子など、本人、家族の希望の物を持って来られている。また、家族写真や影膳を供えるなど、利用者それぞれ自由に部屋を使ってもらっている。</p> | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>安心して就寝できるよう、上から物が落ちてこないようにしたり、家具の配置などに気をつけている</p> | | |

| V アウトカム項目 | | ユニット名： 2 階 | |
|-----------|--|------------|----------------|
| 項 目 | | 該当するものに○印 | 取り組みの成果 |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまにある |
| | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| 項 目 | | 該当するものに○印 | 取り組みの成果 |
|-----|--|-----------|--|
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない |